

主治医氏名		印	病棟	病室	患者番号	0008985093
主治医以外の 担当者氏名	担当医師	病名：	【患者または代理者同意署名】 年 月 日			
	看護師長	症状：	氏名			
	担当看護師	手術： あり	*代理署名の場合 患者との続柄 ()			
	管理栄養士	特別な栄養管理の必要性： あり なし	(代理者氏名)			
入院治療の目標 (達成目標)		1. 退院後の生活の注意点を理解できる 2. 異常があれば、医療機関に相談できる				
推定入院期間	入院日～手術前日	手術当日 (月 日)		手術室予定時間 (:)	手術前 手術後	
注射・内服	<ul style="list-style-type: none"> 入院前から服用している内服がある場合は、薬の確認をします 必要な薬は、服用の指示があります 入院中は医師から指示された薬以外は服用しないで下さい 手術前日の午後、医師が指示した時間に下剤を内服します 	<ul style="list-style-type: none"> 手術当日医師の指示により看護師がお渡しする薬だけを飲んで頂きます 内服は 月 日 時 分にします 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴をしながら病室に戻ります 抗生剤と痛みどめの点滴も行います 			
			<ul style="list-style-type: none"> 内服薬はありません 			
検査	<ul style="list-style-type: none"> 入院後、採血、レントゲン、心電図、呼吸機能の検査があります 手術前日の午後に麻酔科受診、手術室の看護師の訪問があります 糖尿病治療中の方は、1日3～6回、血糖測定が必要になります 	なし		<ul style="list-style-type: none"> 手術後にレントゲン撮影があります 		
処置	<ul style="list-style-type: none"> 持参していただいた呼吸訓練器具を使って、呼吸の訓練をします 	<ul style="list-style-type: none"> 手術に行く前にアクセサリ、金属類や入れ歯等、身につけているものを外し、手術着とT字帯を着用します 		<ul style="list-style-type: none"> 手術室で背中にボタン式痛み止めの点滴が入ります (点滴のときもあります) 尿の管が入ってきます お腹に管が入ってきます 心電図モニターをつけます 酸素吸入をします 酸素濃度を測る器械をつけます 血栓予防のため足に器具をつけます 		
教育・説明・指導	<ul style="list-style-type: none"> 手術同意書や手術について医師、看護師より説明があります 手術前日に手術当日の流れを再度説明します 手術前日の午後から麻酔科外来で、麻酔科医師より麻酔について説明があります 麻酔科受診後に水はいつまで飲めるか、当日の薬の説明を行います 爪の色を観察するために手・足のマニキュアは落として下さい 髭は剃ってください 【必要な物品：売店で購入可能です】 ディスプレイT字帯、腹帯 (2～3枚ずつ) 	<ul style="list-style-type: none"> 入れ歯は入れ物に入れてご家族が保管して下さい メガネなどの貴金属類を外します 歩行か車椅子で手術室に行きます 手術当日は時間外で面会できます 手術中は家族の方はデイルームか患者様のお部屋でお待ち下さい 病棟を離れる際は看護師に声をかけて下さい 貴重品はご家族が預かってください 		<ul style="list-style-type: none"> 看護師が状態を把握するため頻回に訪室します 手術後の意識状況により家族の方に付き添いをお願いすることがあります 体の向きを変えたい場合や体の調子がすぐれない場合等、お手元のナースコールで看護師を呼んでください 背中から入るボタン式の痛み止めが始まりますが、使い方については看護師が説明します (点滴のときもあります) 		
安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません、筋力低下予防のため、散歩等を行って下さい 病棟を離れる際は声をかけて下さい 手術前日は、受診や下剤の処置があるのでなるべく病室で過ごして下さい 	<ul style="list-style-type: none"> 2番目以降の手術の場合はいつ呼ばれてもいように病室でお待ちください 手術室までは状態に応じて、徒歩、車椅子やストレッチャーで入室します 		<ul style="list-style-type: none"> 手術後は医師の指示があるまではベット上安静となります 起き上がることはできませんが、寝返りをうつことはできます。管類が多いため、寝返りの際は看護師がお手伝いします 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病等により、食事制限や治療食になる場合があります、その場合は説明しますので病院食以外は摂らないようにして下さい 	<ul style="list-style-type: none"> 医師が指示した時間から飲水が禁止になります () 時より飲水禁止です 		<ul style="list-style-type: none"> 絶飲食です 		
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません 	<ul style="list-style-type: none"> 手術30分前までに排尿を済ませて下さい 		<ul style="list-style-type: none"> 尿の管が入っているので、尿は自然に流れます 便意がある際は、ナースコールで看護師を呼んで下さい 		
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 【手術前日】 へその処置を行います、処置後シャワーに入ってください 	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません 		<ul style="list-style-type: none"> 特にありません 		
リハビリ	なし	なし		なし		
その他	なし	なし		なし		

*病名等は、現時点で考えられるものとなりますので、今後検査を進めていくうえで変更される可能性があります。
*入院期間については、現時点での予想となっており、状態に応じ予定が異なることも考えられます。*何か質問がある際は医療者にお尋ね下さい。

推定入院期間	手術後1日目 /	手術後2日目 /	手術後3日目 /	手術後4日目～7日目 (/ ~ /)	手術後8日目～退院日	
注射・内服	・点滴、抗生剤と痛みどめの点滴を行います			・食事の摂取状況に応じて点滴を終了します		
	・B型肝炎で抗ウイルス薬を内服されている方は、眠前より内服を始めます	・医師の指示により内服が開始になります			 ・退院後の内服薬を説明しお渡しします	
検査	・レントゲン撮影、採血があります ・手術後3日目以降は医師の指示で検査が入ります ・1日3～6回の血糖測定があります			→		
処置	・心電図モニター、酸素吸入、酸素濃度を測る機械は状況により外します ・歩行ができたなら血栓予防のための機械を外します ・傷の状態を確認しガーゼを替えます	・傷の状態を確認しガーゼを替えます ・お腹の管が入っている場合、抜去します				
教育・説明・指導	・看護師付き添いのもと、頭を起こすことから始まります。座ることや体調次第で歩行も可能になります。手術後は合併症予防や回復促進のために積極的に歩行を促していきます ・吐き気、腹痛などが出現した際は看護師へお知らせください ・毎日、朝食前に体重測定を実施します。点滴のあるうちは看護師が介助します	・手術後は合併症予防や回復促進のために積極的に歩行を促していきます ・飲水、食事開始時は、吐き気や腹痛などを確認しながら少量ずつ摂取して下さい ・腹痛や吐き気などが出現した場合は看護師にお知らせ下さい ・飲み物は水、お茶、スポーツ飲料などにして下さい。糖尿病がある場合、血糖値が高い場合は糖質が入ったものは控えて下さい ・病院で出されたもの以外を食べるには医師の許可が必要です。また、病院で出されたもの以外を食べた場合は看護師へお知らせ下さい ・食事が開始されたら食事指導を実施します			・医師からの説明を希望される場合はお申し出下さい ・尿の貯め方を説明します ・傷の洗い方の説明をします ・必要時、栄養士による栄養指導があります 【退院指導】 ・退院後の傷の扱い方や、生活指導を行います ・退院時に退院後の外来受診について説明します ・なにか不明点や疑問点がありましたらお伝え下さい ・退院の時期は腹腔鏡手術で手術後8日目前後、開腹手術では手術後11日目前後になります ・退院日の迎いの調整をご家族と行って下さい	
安静度	・病棟内歩行ができますが、安定するまでは看護師が付き添います		・特に制限はありませんが、歩行の状況により看護師が付き添うことがあります ・転倒しないように気を付けて歩行して下さい			
食事	・医師の指示により水分が開始になります ・飲水の目安は、腹腔鏡手術は手術後1～2日目、開腹手術は手術後2～3日目になります			・医師の指示により、飲水開始の翌日、もしくは翌々日に食事が始まります ・食事開始の目安は、腹腔鏡手術は手術後2日目、開腹手術は手術後3日目となります		
排泄	・医師の指示があるまで、尿の管が入っています。尿意を強く感じるときは、看護師へ伝えて下さい			・歩行できることを確認してから尿の管を抜きます ・尿の管を抜いた後、残尿感や尿が残っていないか確認します ・尿はカップに取り、蓄尿機にためて下さい		
清潔	・看護師が体を拭きます。手術後1日目は手術着から寝衣に着替えを行います ・陰部を洗います			・お腹の管を抜去後からシャワーに入れます		
リハビリ	なし	なし	なし	なし	なし	
その他	なし	なし	なし	なし	なし	